

第 1 回	<p>1. 看護における国際化、世界の健康課題 1 章、2 章</p> <p>国際看護の対象、文化看護、レイニンガーのサンライズモデル、パーネルの文化能力モデル、健康格差、世界の保健医療システム</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第 2 回	<p>2. 日本の医療におけるグローバル化 4 章、5 章</p> <p>言語・文化の障壁と CLAS、JMIP、医療通訳、やさしい日本語</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第 3 回	<p>3. 文化看護 5 章、6 章、8 章</p> <p>外国人患者に対する看護ケア、地域における外国人への支援</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第 4 回	<p>4. 国際保健医療活動 第 3 章</p> <p>国際機関、国際協力の実際</p> <p>担当：外部講師</p>
第 5 回	<p>5. 国際看護のスキルとリソース 事例課題の発表</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第 6 回	<p>6. 医療における差別 医療較差、健康格差、様々な差別</p> <p>担当：溝部昌子</p>
第 7 回	<p>7. 海外での看護、英国の場合【オンデマンド】 5 章</p> <p>看護師の資格制度</p> <p>担当：外部講師</p>
第 8 回	<p>8. 渡航医学と看護 8 章</p> <p>感染症、深部静脈血栓症 検疫所、トラベルクリニック</p> <p>担当：溝部昌子</p>
テキスト	<p>・ ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践④国際化と看護. MC メディカ出版（電子書籍）</p>
参考図書・ 教材／データ ベース・ 雑誌等の紹介	<p>・ 経済産業省：アウトバウンドに関する取組 医療国際展開カントリーレポート</p> <p>・ マデリン・M・レイニンガー原著：レイニンガー看護論、医学書院、1995</p> <p>・ 経済産業省：病院のための外国人患者受け入れ参考書 2014</p> <p>・ 厚生労働省：外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル（第 4.0 版） 2019</p> <p>・ CLAS Standards</p> <p>・ Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: TEACHING CULTURAL COMPETENCE IN HEALTH CARE. A REVIEW OF CURRENT CONCEPTS, POLICIES AND PRACTICES, 2002</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Office of Minority Health U.S. Department of Health and Human Services: Culturally Competent Nursing Care: A Cornerstone of Care 2016 ・ 医療×「やさしい日本語」研究会
課題に対するフィードバックの方法	<p>それぞれ A-B-C3 段階評価を付し返却します</p> <p>(A: 情報検索、複数の立場や観点から、自身の意見を論述している B: 情報検索あるいは意見の論述に不足がある C: 不足が多い)</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>基礎看護学、看護理論など、看護の対象を理解するための方法、理論を基盤とし、人々の健康に影響を与えている生物医学的背景、地理気候、法律や制度、経済、政治、文化などの様々な要因に関心、興味、視野をもち吸収し、看護に関連づけてしなやかに思考する開放性が求められます</p> <p>日本国内にも外国につながりのある人々が暮らしています。看護の対象として接する際に必要な知識・取り組み方を学びます。海外に興味がある方にもそうでない方にも、未来を生きる大学生が履修すべき科目の一つとして勧めます。</p>

